

こんなことを聞きました /

一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市長に対して行う質問です。
内容は提出議案にかかわらず、市政全般に及びます。このため、質問内容は議員により様々です。

皆さんの気になっていた質問、ご自身の生活に影響のある質問はありましたか？

今回の定例会では、12名の議員が 28項目について質問をしました。

発言順に質問の要旨を掲載しています。

詳しい質問や答弁の内容は、質問者ごとに掲載している2次元コードからご確認ください。

質問項目の詳細は、以下のコードよりご覧いただけます。



一般質問通告書の
ページを表示します。

・ 誰一人取り残さない福祉行政について

・ 安心して認知症になれる社会づくりについて

・ 障がい者福祉の推進について

認知症の定義として、認知機能が低下しただけでは認知症と判断しません。社会生活を送る上で支障が生じたときに、初めて認知症と認定されるとのことです。そのことから、認知症の方が認知できる環境を整える事が大切です。それには家族はもとより社会が工夫をして認知できる環境をつくり上げていくことで、認知症の方が通常的生活を送れるように取り組む必要があります。そのためには共生社会を実現させること、認知症の方本人の声を把握すること、地域づくりアクション・市町村施策へ反映させること、さらに認知症施策推進基本計画を自治体としてしっかり推進していくことが大切であり、これらを実行

することで認知症の方の日常生活が取り戻せると考えます。

次に障がい者福祉の推進についてですが、偏見を持たないことから始める必要があります。障がい者は今ある現実を受け止め、社会生活を前向きに送っています。私たちは障がい者の思いに寄り添い、様々なケースを想定し、障がい者福祉に取り組むことが大切です。以上のことを踏まえて質問しました。



新風新政会
いまい としひろ
今井 敏博



詳しい内容は
こちら